

茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成30年 11月

1 東京都中央卸売市場(平成30年1～10月)の青果物取扱高について

- ① 全体の入荷量は約156万 t で、前年比6%減、金額は約4,733億円で前年比3%増となった。
- ② 茨城県産の入荷量は約17万 t で、前年比6%減、金額は約485億円で前年比3%増となった。
(金額の内訳は、野菜約402億円、果実約83億円。前年同期比で野菜4%増、果実増減なし、平年同期比で野菜6%増、果実5%増)
金額が【増加】した品目(前年対比)：こまつな(130%)、みず菜(121%)、はくさい(112%)
金額が【減少】した品目(前年対比)：トマト(86%)、れんこん(95%)
- ③ 茨城県の1～10月計の青果物入荷量は平年比3%減(シェア11.1%)、取扱金額は同5%増(シェア10.3%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1～10月計)			
	1～10月計	年間計	年間比	1～10月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木	
数量	H30	1,555,271		172,820	←シェア(11.1%)		10.2%	10.8%	3.5%	
	H29	1,648,587	1,994,086	82.7	183,944	236,414	77.8	10.5%	11.4%	3.3%
	(前年比)	94		94	シェア(11.2%)					
	平年値※	1,646,737	2,003,485	82.2	178,045	228,865	77.8			
	(平年比)	94		97	シェア(10.8%)					
金額	H30	473,329		48,536	←シェア(10.3%)		7.6%	6.2%	5.7%	
	H29	459,665	570,141	80.6	47,193	60,168	78.4	7.8%	6.2%	5.6%
	(前年比)	103		103	シェア(10.3%)					
	平年値※	454,299	553,898	82.0	46,030	56,083	82.1			
	(平年比)	104		105	シェア(10.1%)					

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成25～29年の5カ年平均。

※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》

平成29年実績
(1～12月計)

茨城県：金額シェア(10.6%)、数量シェア(11.9%)
千葉県：金額シェア(8.0%)、数量シェア(10.9%)
北海道：金額シェア(5.9%)、数量シェア(11.6%)

2 東京都中央卸売市場(平成30年10月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

()内は前年対比

野菜類の入荷量は約16.4千トン(85%)、単価は287円(146%)、金額は約47億円(123%)
果実類の入荷量は約0.9千トン(90%)、単価は424円(102%)、金額は約3.9億円(91%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の平成25～29年同月の5カ年平均値との比率

	品目	数量(t)			単価(円/kg)			金額(千円)				
		前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比			
野菜	レタス類	4,328	89%	89%	94%	195	156%	104%	104%	845,486	139%	92%
	ピーマン	1,243	106%	106%	104%	515	161%	140%	139%	639,519	171%	148%
	れんこん	878	111%	97%	95%	410	95%	98%	98%	359,762	105%	95%
	こまつな	686	113%	144%	99%	393	159%	134%	131%	269,305	180%	192%
	野菜類計	16,442	85%	88%	96%	287	146%	118%	114%	4,726,385	123%	104%
果実	くり	409	118%	116%	110%	570	79%	93%	93%	233,219	94%	107%
	果実類計	909	90%	93%	91%	424	102%	106%	116%	385,672	91%	98%

(野菜)

- レタス類 茨城県の出荷ピークが夏場の高温乾燥等の影響で昨年よりやや遅くなったこともあり、品薄感から単価は上昇したが、10月後半は気温の低下に伴い、消費が低迷し、単価も低下した。平均単価は前年よりかなり高いものの、平年比104%とやや高い程度となった。
- ピーマン 東北産地の一部で切り上げが早く出荷量が少ない産地もあったが、全体としては平年を上回る量となった。前年に比べ野菜全体の数量の不足感もあり、単価は高値となった。
- れんこん 前年は8月の曇天の影響でやや作柄が悪く、平年より数量が少なくやや単価の高い状態であった。本年も、高温や強風の影響で生育や肥大のばらつきがみられ、平年より出荷数量は少なかったものの、単価は、平年をやや下回った。

(果実類)

- くり 2年前の台風により樹に損傷を受け、昨年まで出荷数量が少なかったが、本年は茨城県・熊本県ともに、他の果樹と同様出荷は前進化したものの順調に出荷され数量は平年を上回った。数量が潤沢であったこと、9月の暑い時期の出荷量が多く需要が伸び悩んだことから、単価は平年を下回った。

※各数値は、東京青果物情報センターおよび東京都中央卸売市場実績を基に算出